

PC98と私
～BSD関連の開発秘話～

神保道夫

Karl@nisoc.or.jp

2003/04/19

BSDを触るようになったきっかけ(1)

- 私が始めてパソコンを買った機械が、PC-9801FA2(i486 16MHz)
 - 当時は一般的に普及しているPCと言え
ば、PC-9801シリーズが50%以上で、PC-AT互換機は一部のわずかなショップにし
か売っていなかった。
 - Windowsも、その当時はNEC Windows
3.0の時代で、まだまだテキストベースの時
代

BSDを触るようになったきっかけ(2)

- しかし、1年後には、PC-9821の時代が到来！
～たった1年で速度が数倍の機械が出ちゃった(涙)
- Windowsも3.1となり、普及の兆しが出てきた
- しょうがないので、必死にマシンのパワーアップを図る。
グラフィックボード・サウンドボード・大容量HDD等々
- Windows95が出た頃には、i486DX4 96MHz、メモリ32M、240MB+270MBのHDDを搭載
- 軽く100万を越える投資(涙)

BSDを触るようになったきっかけ(3)

- その頃、当時加入していたPC-VANで、386BSD(98)なるものの回覧があることを知る。新らし物好きな私はさっそく入手。でも、SCSIボードとの相性が悪く、いまいち。
- 更に、FreeBSD(98)のalpha版の回覧が始まり、そっちはなんかいいらしいということを知りつけ、そっちに乗り換え。

FreeBSD(98) 移植チームに加入(1)

- BSD業界に取っては頭の痛い、訴訟問題で、FreeBSD(98)も巻き添えを食って、公開がストップ。でも、FreeBSD 2.0の開発に伴って、FreeBSD(98)移植チームが開発をやっているという事を聞きつけ、始めはテスターとして参加したつもり。

FreeBSD(98) 移植チームに参加(2)

- 活動の変遷
 - syscons(画面表示用のデバイスドライバのカスタマイズ)
 - リリースの取りまとめ役(この時点で、karl@jp.FreeBSD.ORGを取得)
 - テスター
- ©FreeBSD(98)移植チームが管理をしているMLの管理者。おまけで、announce-jpも。

X98 Core Teamとしての活動(1)

- 元々は、自分の持っていた、NECのWAB-BというグラフィックボードがXFree86(98)に対応していないため、なんとかしたかったので加入。
- このボードは、S3 86C928という、当時最速の部類に入るチップを搭載しているが、NECが情報公開をしていなかったため、非常に苦労した。

X98 Core Teamとしての活動(2)

- X98 Core Teamとしての活動とともに、XFree86 devel MLにも参加し、XFree86のdevelopper向けの情報などもX98 Core Teamにforwardしたりしている。

NetBSD/pc98 Core Teamとしての活動(1)

- FreeBSD(98)にも慣れてくると、より新しいものを追求したい欲求に駆られて来たところ、PC-VANで、NetBSDをPC98に移植したという方が現れたので、早速インストール。その後、インターネット上で開発を行っているという情報を入手したため、開発チームにまたまたテスターとして参加。

NetBSD/pc98 Core Teamとしての活動(2)

- その後、本多@北大さん、松田@北大さん(当時)も、NetBSDを独自にPC98に移植している事を知り、移植チームに加入してもらい、評価するが、できの良さに驚く。
 - PC9821機での640×480ドットモードを使った30行コンソール
 - union FSの安定化(NetBSD/pc98では、union FSを使ってカーネルを作る!)

NetBSD/pc98 Core Teamとしての活動(3)

- PCCARD support
当時、FreeBSD(98)などでは、PAO(98)を使わないとできなかった、動的な抜き差しにも対応
- その他、(対応LANボードの多さなど)
- 現在は、メインのNOTEマシンで、NetBSD/pc98(based on NetBSD 1.4)を使用。
- また、MLの管理者をやっている。

現在の私とBSDの関り

- 主な活動

FreeBSD(98) Core, hackers, testers ML管理
announce-jp@jp.FreeBSD.ORG 管理

- おひまな方は、

<http://www.nisoc.or.jp/%7Ekarl/>

を覗きにきてください。ただしちょっと古いです☺